

院内診療録使用に関するお知らせ

『研究課題名 当院で過去 5 年間に検出された *Corynebacterium* 眼感染症の臨床的検討』

【研究の背景および目的】

Corynebacterium は皮膚や眼脂など人体のあらゆる部位の常在菌として検出されますが、*Corynebacterium* 単独での病原性が低いため、細菌培養検査で検出されても、単なる汚染菌として取り扱われておりました。しかし最近の研究では *Corynebacterium* がある一定の条件下では様々な疾患の原因菌となり得るとの報告があります。角膜炎・涙道炎など、*Corynebacterium* の検出された眼疾患を調べることで、眼感染症における新たな病態・治療が生まれる可能性があると考えております。

そこで、東邦大学医療センター大森病院眼科では、今回、当院眼科を受診し、細菌培養検査で *Corynebacterium* が検出された眼感染症患者様において、既往歴、原因疾患、治療経過、薬剤感受性等を診療録から後ろ向きに検討し、*Corynebacterium* の検出症例の臨床的経過を検証することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者様に対してよりよい医療を提供するための情報を発信できることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。2014 年～2018 年までに東邦大学医療センター大森病院眼科において、『*Corynebacterium*』が細菌培養検査で検出された症例を対象とし、診療録（カルテ）を参照して *Corynebacterium* の臨床的な意義を調査します。

本研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。研究者の中に企業との利益相反状態にある者がおりますが、直接データ解析には関与せず、また複数の共同研究者間で監視しあう体制を作り、客観性が保たれるようにいたします。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理診断結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 眼科

職位・氏名 教授・堀 裕一

電話 03-3762-4151 内線 6710